

# 西部まちづくりアンケート

## 結果報告書

西部地域委員会準備会

## 西部まちづくりアンケート結果

### 1 概要

○ 調査目的

より良いまちづくりを進めるためには、まず住民の声をお聞きし、地域の課題を見つけることが重要です。そこで、みなさんが日ごろ考えていることやご意見を聞くためのアンケートを行いました。

○ 調査主体

西部地域委員会準備会  
(事務局：西部ふれあいのまちづくり推進委員会)

○ 調査期間

平成27年8月13日から8月31日まで

○ 調査対象

西部地区にお住まいの方の中から、市役所が無作為に選び出した 18歳以上の1,470人

○ 実施方法

郵送により配布及び回収、西部地域委員会準備会で集計及び分析

○ 有効回収数

559通（回収率 38.0%）

※西部地区の全住民（12,090人）の4.6%

## あなた自身についてお聞きします

### 問1 あなたの性別はどちらですか。

性 別	回答数	割合
①男性	246	44.0%
②女性	299	53.5%
不明（無回答）	14	2.5%
合 計	559	100.0%

### 問2 あなたの年齢は満何歳ですか。

年齢区分	回答数	割合
①18~29歳	37	6.6%
②30~39歳	55	9.8%
③40~49歳	71	12.7%
④50~59歳	87	15.6%
⑤60~69歳	168	30.1%
⑥70~79歳	90	16.1%
⑦80歳以上	45	8.1%
不明（無回答）	6	1.1%
合 計	559	100.0%

### 【参考】西部地区の住民基本台帳人口 年齢別(平成27年6月1日現在)

年齢区分	人数	割合
0~9歳	1,116	9.2%
10~19歳	1,244	10.3%
20~29歳	1,183	9.8%
30~39歳	1,481	12.2%
40~49歳	1,652	13.7%
50~59歳	1,377	11.4%
60~69歳	2,082	17.2%
70~79歳	1,164	9.6%
80~89歳	626	5.2%
90歳以上	165	1.4%
合 計	12,090	100.0%

### 問3 あなたの世帯はどのような形態ですか。

項 目	回答数	割合
①単身世帯	32	5.7%
②夫婦のみの世帯	172	30.8%
③2世代の世帯	241	43.1%
④3世代の世帯	73	13.1%
⑤その他	32	5.7%
不明（無回答）	9	1.6%
合 計	559	100.0%

問4 あなたがお住まいの地区はどこですか。

項目	回答数	割合
①小屋名	115	20.6%
②上白金	68	12.2%
③下白金	27	4.8%
④山田	50	8.9%
⑤津保川台	81	14.5%
⑥虹ヶ丘	48	8.6%
⑦保戸島	42	7.5%
⑧千疋	35	6.3%
⑨植野	23	4.1%
⑩千疋北1・2	31	5.5%
⑪大平台	32	5.7%
不明（無回答）	7	1.3%
合 計	559	100.0%

問5 あなたは(世帯は)自治会に加入していますか。

項目	回答数	割合
①加入している	537	96.1%
②加入していない	15	2.7%
不明（無回答）	7	1.3%
合 計	559	100.0%

問6 自治会に加入しない理由は何ですか。

項目	回答数	割合
①行事や役員など面倒なことが多い	5	26.3%
②高額な入会金を求められた	2	10.5%
③会費などが負担である	2	10.5%
④加入方法が分からなかった	0	0.0%
⑤アパートなどの借り住まいでの長く住まない	7	36.8%
⑥希望したが、受け入れてもらえないかった	0	0.0%
⑦その他	3	15.8%
合 計	19	100.0%

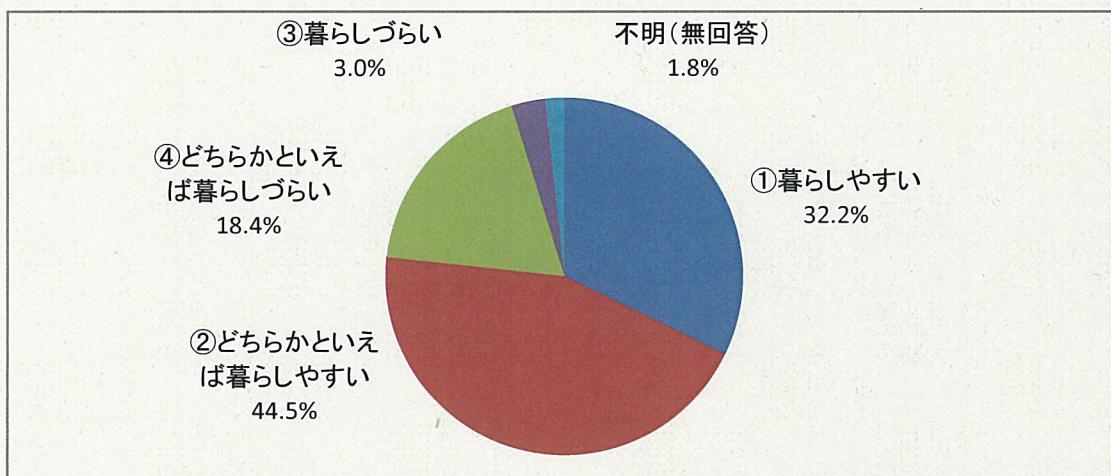
「その他」の主な回答

- ・息子世帯が、地区内の他の自治会に加入している。
- ・高齢であるため自治会の付き合いができない。

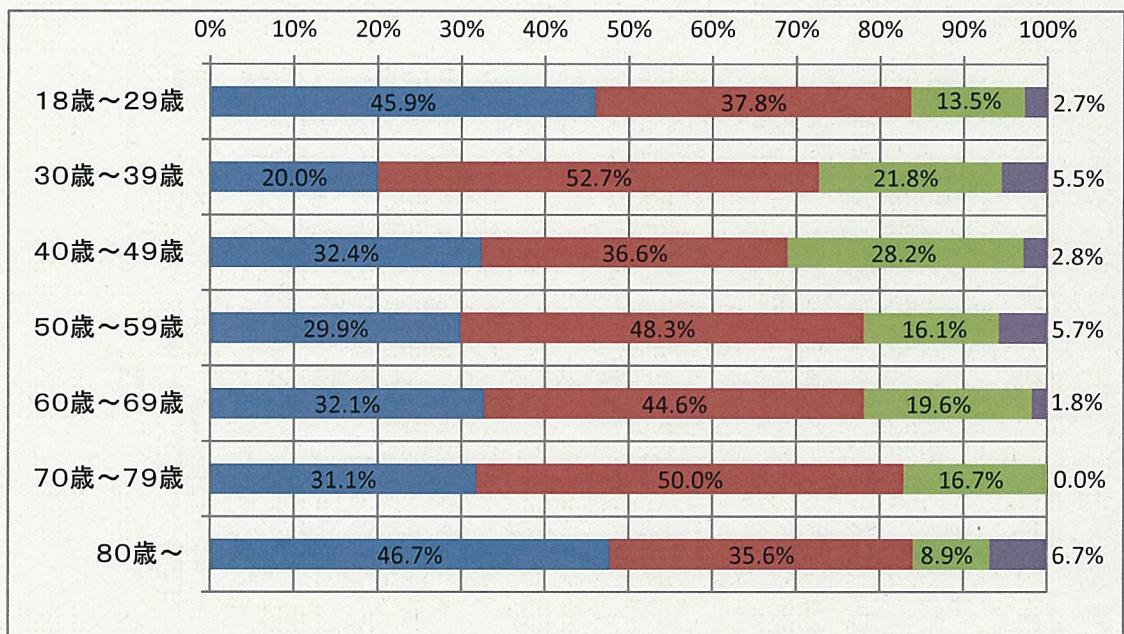
## 暮らしについてお聞きします

問7 あなたにとって西部地区は暮らしやすいですか。

項目	回答数	割合
①暮らしやすい	180	32.2%
②どちらかといえば暮らしやすい	249	44.5%
④どちらかといえば暮らしづらい	103	18.4%
③暮らしづらい	17	3.0%
不明（無回答）	10	1.8%
合 計	559	100.0%



### 【参考】年齢別にみる暮らしやすさ

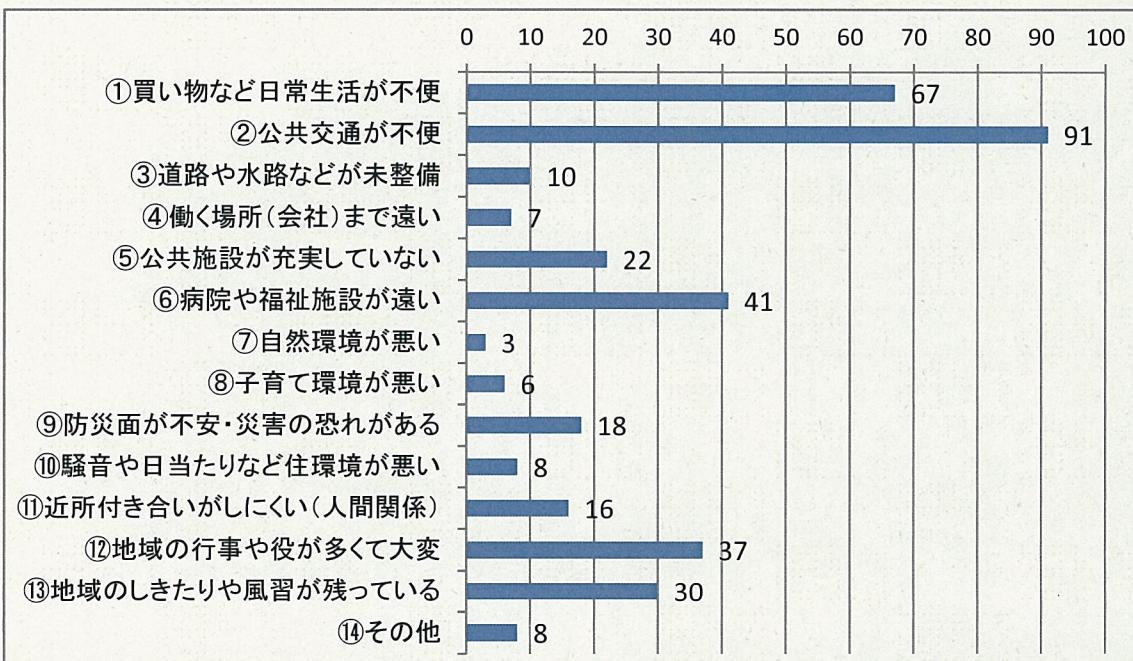


問8 西部地区のどんなところが暮らしづらいですか。(問7で③、④を選んだ方)

項目	回答数	割合
①買い物など日常生活が不便	67	18.4%
②公共交通が不便	91	25.0%
③道路や水路などが整備されていない	10	2.7%
④働く場所(会社)まで遠い	7	1.9%
⑤公共施設が充実していない	22	6.0%
⑥病院や福祉施設が遠い	41	11.3%
⑦自然環境が悪い	3	0.8%
⑧子育て環境が悪い	6	1.6%
⑨防災面が不安・災害の恐れがある	18	4.9%
⑩騒音や日当たりなど住環境が悪い	8	2.2%
⑪近所付き合いがしにくい(人間関係)	16	4.4%
⑫地域の行事や役が多くて大変	37	10.2%
⑬地域のしきたりや風習が残っている	30	8.2%
⑭その他	8	2.2%
合計	364	100.0%

「その他」の主な回答

- ・子供の通学に時間がかかる
- ・近所の鳥小屋の悪臭がつらい
- ・税金が高く、社協費や区費などの協力金や賛助金が多い
- ・隣接する百年公園から落ち葉や虫が入ってくる
- ・行事が多く時代に合っていない
- ・買い物ができるお店が近くにない
- ・郵便ポストすら近くにない
- ・ゲリラ豪雨の時に排水が悪く冠水したことがある
- ・ゴミステーションが遠く、ゴミ出しが不便である



問9 あばたが現在の場所に暮らすことにした理由は何ですか。

項目	回答数	割合
①生まれ育ったところだから	160	21.9%
②災害のない安全な地区だから	37	5.1%
③人間関係の良さ	20	2.7%
④働く場所（会社）まで近い	57	7.8%
⑤自然が豊かなところ	75	10.3%
⑥商業施設があり買い物が便利	8	1.1%
⑦良い不動産（家・土地）があったから	122	16.7%
⑧結婚により	199	27.2%
⑨その他	53	7.3%
合 計	731	100.0%

問10 あなたは現在の場所にこれからも住み続けたいと思いますか。

項目	回答数	割合
①ずっと住み続けたい	273	48.8%
②当分住み続けたい	163	29.2%
③できれば転居したい	58	10.4%
④すぐにでも転居したい	4	0.7%
⑤わからない	55	9.8%
不明（無回答）	6	1.1%
合 計	559	100.0%

「③できれば転居したい」「④すぐにでも転居したい」を選んだ理由

- ・親から独立して生活したい ・地震による液状化が心配である
- ・大雨による洪水が心配である ・子供の通学が不便である ・子育て環境が悪い
- ・昔からの行事につきあうのが大変である ・自己中心的な人が多く住みにくく
- ・役員がすぐまわってくる ・地域性があまり好きではない ・日当たりが悪い
- ・高齢になったら住みづらい ・車が乗れないと生活できない
- ・区費など協力金が高すぎる ・自治会の付き合いが面倒である
- ・山の上に住んでいるので高齢になると生活できない ・ムカデなど虫が多い
- ・高齢になったら便利な所で暮らす予定である ・新旧の地区で格差を感じる
- ・押し付けるような言い方をされる人が多い ・この場所で暮らす意味がない
- ・犬や猫の粪、汚物、犬が吠えるなど我慢できない ・地域の人間関係がいやです
- ・自治会に加入しているのに広報やゴミの日程表が配布されない など

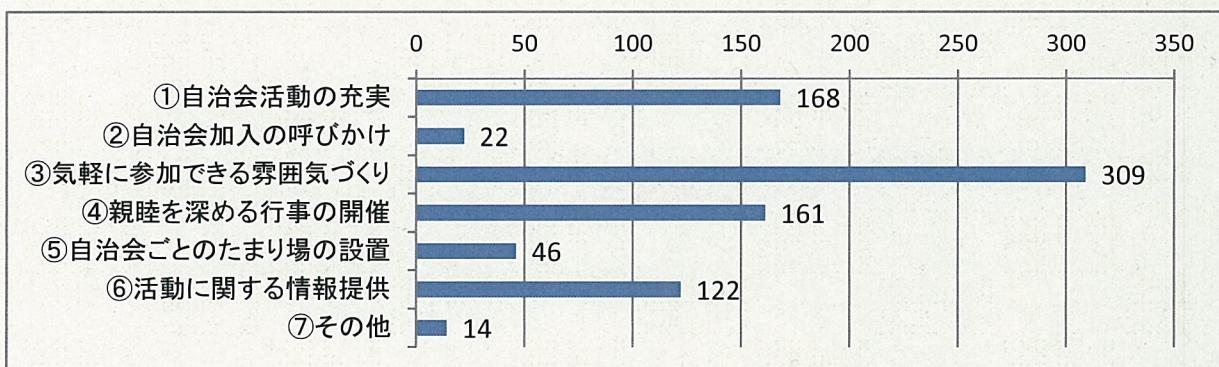
## まちづくり活動についてお聞きします

問11 地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①自治会活動の充実・見直し	168	20.0%
②自治会加入の呼びかけ	22	2.6%
③気軽に参加できる雰囲気づくり	309	36.7%
④地域住民の親睦を深める行事の開催	161	19.1%
⑤自治会ごとのたまり場の設置	46	5.5%
⑥活動に関する情報提供	122	14.5%
⑦その他	14	1.7%
合計	842	100.0%

### 「その他」の主な回答

- ・自治会費を下げる
- ・昔からのしきたりをなくす
- ・転居されてきた方を排除しない
- ・隣近所で助け合う精神を定着させる
- ・地区的祭りやイベントに助成する
- ・住民同士の親睦が深まるようみんなで努力をする
- ・強制的に参加させることをやめる
- ・公園など集まりやすい場所や施設をつくる
- ・自治会以外でつながる輪をつくる
- ・一部の方に左右されない民主的な仕組みをつくる
- ・自治会数を減らす



### 【参考】年齢別にみる地域の絆やコミュニティを守るためにみんなで取り組むと良いこと

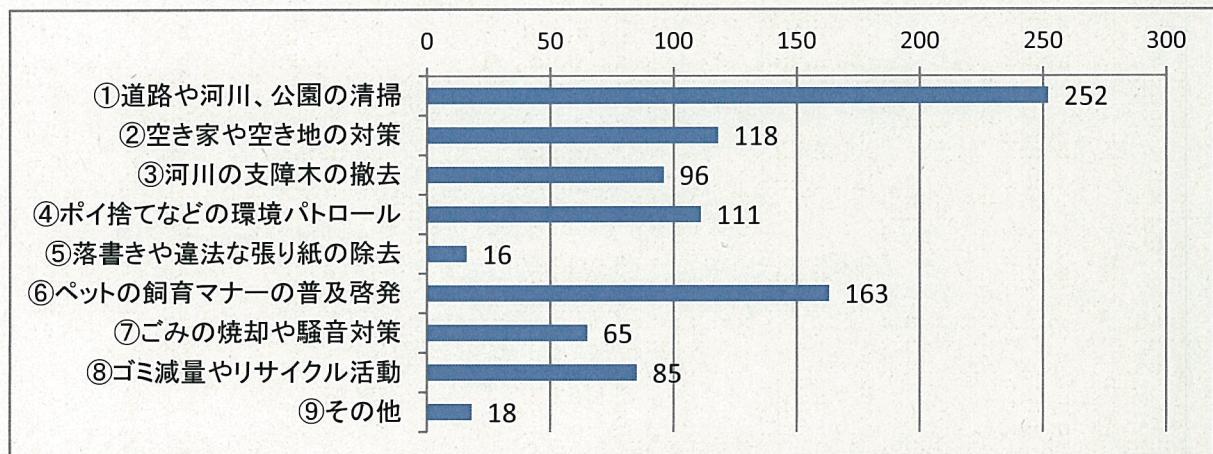
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	③気軽に参加できる雰囲気づくり	⑥活動に関する情報提供	④親睦を深める行事の開催	①自治会活動の充実・見直し	②自治会加入の呼びかけ
30~39歳	③気軽に参加できる雰囲気づくり	①自治会活動の充実・見直し	⑥活動に関する情報提供	④親睦を深める行事の開催	⑤自治会ごとのたまり場の設置
40~49歳	③気軽に参加できる雰囲気づくり	①自治会活動の充実・見直し	④親睦を深める行事の開催	⑥活動に関する情報提供	②自治会加入の呼びかけ
50~59歳	③気軽に参加できる雰囲気づくり	④親睦を深める行事の開催	①自治会活動の充実・見直し	⑥活動に関する情報提供	⑤自治会ごとのたまり場の設置
60~69歳	③気軽に参加できる雰囲気づくり	①自治会活動の充実・見直し	④親睦を深める行事の開催	⑥活動に関する情報提供	⑤自治会ごとのたまり場の設置
70~79歳	③気軽に参加できる雰囲気づくり	④親睦を深める行事の開催	①自治会活動の充実・見直し	⑥活動に関する情報提供	⑤自治会ごとのたまり場の設置
80歳以上	③気軽に参加できる雰囲気づくり	④親睦を深める行事の開催	⑥活動に関する情報提供	①自治会活動の充実・見直し	⑤自治会ごとのたまり場の設置

## 問12 生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①道路や河川、公園の清掃	252	27.3%
②空き家や空き地の対策	118	12.8%
③花木の植栽や花壇づくり	96	10.4%
④ポイ捨てなどの環境パトロール	111	12.0%
⑤落書きや違法な貼り紙の除去	16	1.7%
⑥ペットの飼育マナーの普及啓発	163	17.6%
⑦ごみの焼却や騒音対策	65	7.0%
⑧ゴミの減量やリサイクル活動	85	9.2%
⑨その他	18	1.9%
合計	924	100.0%

### 「その他」の主な回答

- ・団地内の通過車両を減らす
- ・路上（違法）駐車対策
- ・外国人がうるさい
- ・犬のウンチ対策
- ・野良猫対策
- ・基本的な倫理観を持つ
- ・ペットの放し飼いの禁止
- ・夜間の車やバイクの騒音対策
- ・管理できない花壇をつくらない
- など



### 【参考】年齢別にみる生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いこと

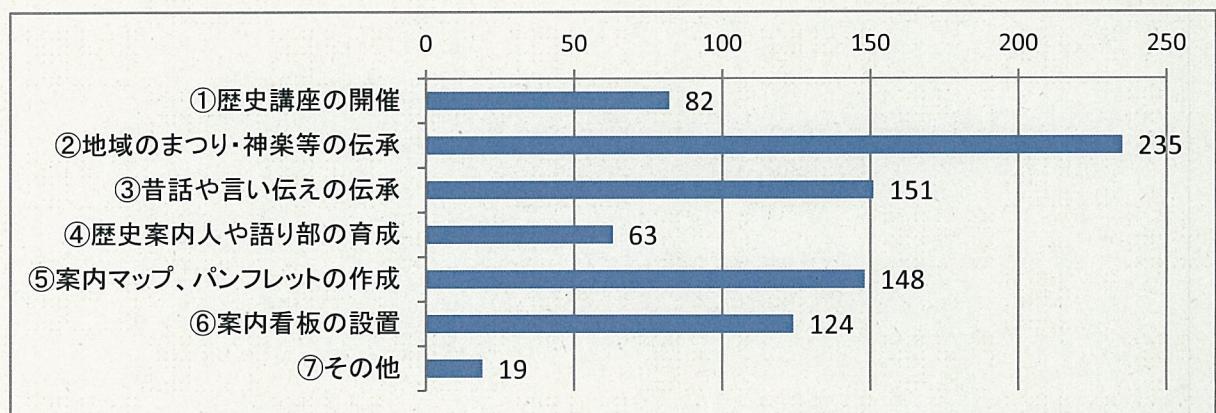
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	①道路や河川、公園の清掃	⑦ごみの焼却や騒音対策	⑥ペットの飼育マナーの普及	②空き家や空き地の対策	③花木の植栽や花壇づくり
30~39歳	①道路や河川、公園の清掃	⑥ペットの飼育マナーの普及	②空き家や空き地の対策	⑦ごみの焼却や騒音対策	④ポイ捨ての環境パトロール
40~49歳	①道路や河川、公園の清掃	⑥ペットの飼育マナーの普及	②空き家や空き地の対策	③花木の植栽や花壇づくり	⑧ゴミの減量やリサイクル活動
50~59歳	①道路や河川、公園の清掃	②空き家や空き地の対策	④ポイ捨ての環境パトロール	③花木の植栽や花壇づくり	⑥ペットの飼育マナーの普及
60~69歳	①道路や河川、公園の清掃	⑥ペットの飼育マナーの普及	④ポイ捨ての環境パトロール	②空き家や空き地の対策	⑧ゴミの減量やリサイクル活動
70~79歳	⑥ペットの飼育マナーの普及	①道路や河川、公園の清掃	④ポイ捨ての環境パトロール	⑧ゴミの減量やリサイクル活動	③花木の植栽や花壇づくり
80歳以上	①道路や河川、公園の清掃	⑥ペットの飼育マナーの普及	③花木の植栽や花壇づくり	④ポイ捨ての環境パトロール	②空き家や空き地の対策

問13 伝統文化を保存活用するためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①歴史講座の開催	82	10.0%
②地域のまつり・神楽等の伝承	235	28.6%
③昔話や言い伝えの伝承	151	18.4%
④歴史案内人や語り部の育成	63	7.7%
⑤案内マップ、パンフレットの作成	148	18.0%
⑥案内看板の設置	124	15.1%
⑦その他	19	2.3%
合計	822	100.0%

「その他」の主な回答

- ・ 小中学生を対象にした郷土教育 ・ 実用的な講座の開催
- ・ 太鼓の伝承 ・ 地域の歴史や文化を学ぶ場をつくる
- ・ 住民が地域の歴史や文化、旧跡を知ることから始まる など



【参考】年齢別にみる生活環境を守るためにみんなで取り組むと良いこと

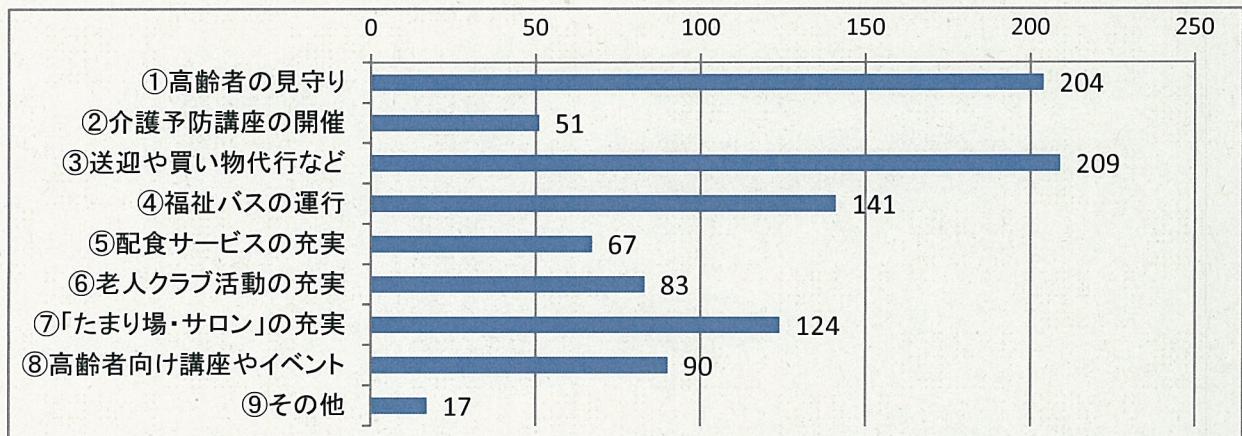
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	②地域のまつり・神楽の伝承	⑥案内看板の設置	⑤案内マップ、パンフレットの作成	③昔話や言い伝えの伝承	①歴史講座の開催
30~39歳	②地域のまつり・神楽の伝承	⑥案内看板の設置	⑤案内マップ、パンフレットの作成	③昔話や言い伝えの伝承	①歴史講座の開催
40~49歳	②地域のまつり・神楽の伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	③昔話や言い伝えの伝承	⑥案内看板の設置	④歴史案内人や語り部の育成
50~59歳	②地域のまつり・神楽の伝承	③昔話や言い伝えの伝承	⑥案内看板の設置	⑤案内マップ、パンフレットの作成	①歴史講座の開催
60~69歳	⑤案内マップ、パンフレット	②地域のまつり・神楽等の伝承	③昔話や言い伝えの伝承	⑥案内看板の設置	①歴史講座の開催
70~79歳	②地域のまつり・神楽の伝承	③昔話や言い伝えの伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	⑥案内看板の設置	①歴史講座の開催
80歳以上	③昔話や言い伝えの伝承	②地域のまつり・神楽の伝承	⑤案内マップ、パンフレットの作成	⑥案内看板の設置	④歴史案内人や語り部の育成

問14 高齢者が安心して生き生きと暮らすためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①高齢者の見守り	204	20.7%
②介護予防講座の開催	51	5.2%
③送迎や買い物代行などの生活支援	209	21.2%
④福祉バスの運行	141	14.3%
⑤配食サービスの充実	67	6.8%
⑥老人クラブ活動の充実	83	8.4%
⑦「たまり場・サロン」の充実	124	12.6%
⑧高齢者向け講座やイベントの開催	90	9.1%
⑨その他	17	1.7%
合計	986	100.0%

「その他」の主な回答

- ・高齢者自身はまだまだ若いと思っているので、高齢者という枠にはめない
- ・高齢者が昔話や昔あそび、勉強等小学生に教える機会をつくる
- ・高齢者が軽作業で賃金が得られる仕組みをつくる ・就労の機会を与える
- ・歩いて行ける範囲にコンビニエンスストアがほしい ・毎朝の声かけ
- ・それぞれに合った人と関われるコミュニケーションづくり ・世代間交流の促進
- ・元気な方には生きがいや楽しみ、自宅に居る人には生活支援の充実や生きがいへの誘導
- ・老人のことは老人にまかせること ・現状で十分であるため何もしない
- ・細々と生きることが老人にとって生き生きと暮らすことになる など



【参考】年齢別にみる高齢者が安心して生き生きと暮らすためにみんなで取り組むと良いこと

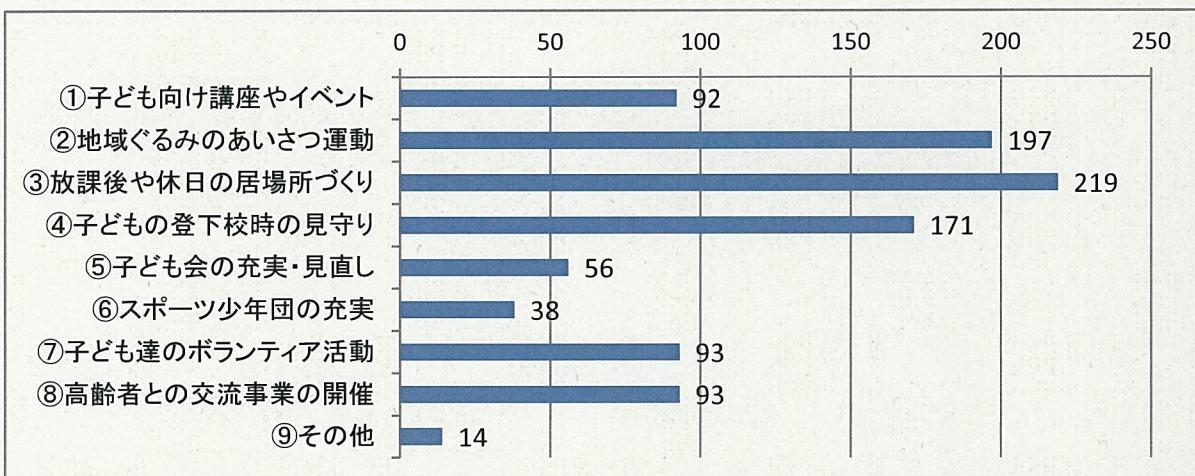
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	③送迎や買い物代行などの生活支援	①高齢者の見守り	⑥老人クラブ活動の充実	④福祉バスの運行	⑦「たまり場・サロン」の充実
30~39歳	③送迎や買い物代行などの生活支援	⑦「たまり場・サロン」の充実	①高齢者の見守り	④福祉バスの運行	⑧高齢者向け講座やイベントの開催
40~49歳	③送迎や買い物代行などの生活支援	①高齢者の見守り	⑦「たまり場・サロン」の充実	④福祉バスの運行	⑤配食サービスの充実
50~59歳	①高齢者の見守り	③送迎や買い物代行などの生活支援	④福祉バスの運行	⑦「たまり場・サロン」の充実	⑧高齢者向け講座やイベントの開催
60~69歳	③送迎や買い物代行などの生活支援	①高齢者の見守り	④福祉バスの運行	⑦「たまり場・サロン」の充実	⑧高齢者向け講座やイベントの開催
70~79歳	①高齢者の見守り	⑥老人クラブ活動の充実	③送迎や買い物代行などの生活支援	⑦「たまり場・サロン」の充実	④福祉バスの運行
80歳以上	①高齢者の見守り	③送迎や買い物代行などの生活支援	④福祉バスの運行	⑥老人クラブ活動の充実	⑧高齢者向け講座やイベントの開催

問15 子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①子ども向け講座やイベントの開催	92	9.5%
②地域ぐるみのあいさつ運動	197	20.2%
③放課後や休日の子どもの居場所づくり	219	22.5%
④子どもの登下校時の見守り	171	17.6%
⑤子ども会の充実・見直し	56	5.8%
⑥スポーツ少年団の充実	38	3.9%
⑦子ども達のボランティア活動の支援	93	9.6%
⑧高齢者との交流事業の開催	93	9.6%
⑨その他	14	1.4%
合計	973	100.0%

「その他」の主な回答

- ・思いっきり外遊びができる場所づくり ・親の教育が必要 ・屋外で子供を遊ばせる
- ・いつも交通安全で立たれる方に感謝します ・子供のことは子供にまかせる
- ・川などで遊ぶ場所をつくる ・地域活動に参加させる ・交通ルールを学ばせる
- ・子供会の活動を充実させる ・公園でボール遊びができるようにする など



【参考】年齢別にみる子ども達を健やかに育むためにみんなで取り組むと良いこと

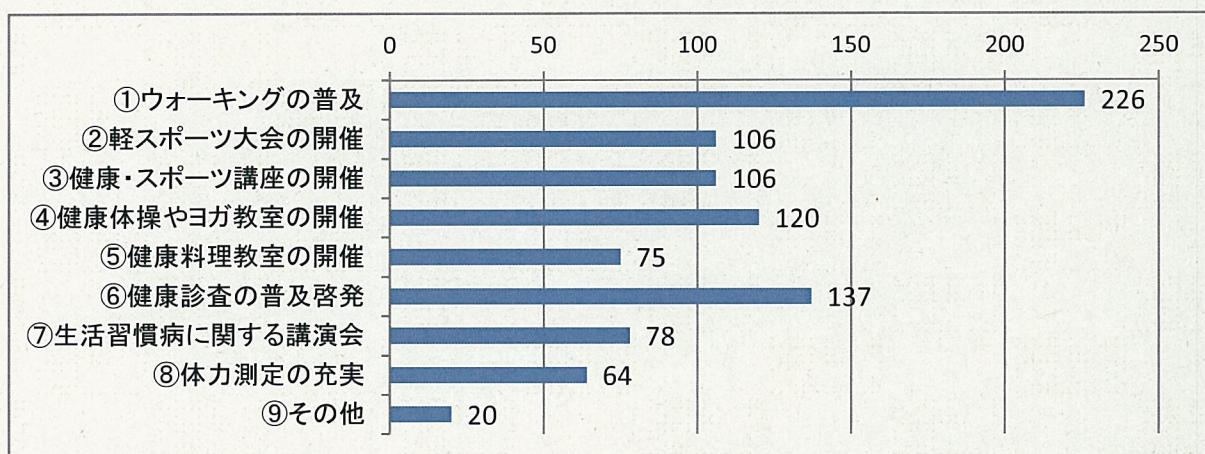
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	④登下校時の見守り	③放課後や休日の居場所づくり	⑦ボランティア活動の支援	②地域ぐるみのあいさつ運動	①子ども向け講座やイベント
30~39歳	③放課後や休日の居場所づくり	④登下校時の見守り	①子ども向け講座やイベント	②地域ぐるみのあいさつ運動	⑥スポーツ少年団の充実
40~49歳	④登下校時の見守り	③放課後や休日の居場所づくり	②地域ぐるみのあいさつ運動	①子ども向け講座やイベント	⑦ボランティア活動の支援
50~59歳	③放課後や休日の居場所づくり	②地域ぐるみのあいさつ運動	④登下校時の見守り	①子ども向け講座やイベント	⑦ボランティア活動の支援
60~69歳	③放課後や休日の居場所づくり	②地域ぐるみのあいさつ運動	④登下校時の見守り	⑧高齢者との交流事業の開催	⑦ボランティア活動の支援
70~79歳	②地域ぐるみのあいさつ運動	③放課後や休日の居場所づくり	④登下校時の見守り	⑧高齢者との交流事業の開催	⑦ボランティア活動の支援
80歳以上	②地域ぐるみのあいさつ運動	⑧高齢者との交流事業の開催	③放課後や休日の居場所づくり	④登下校時の見守り	⑦ボランティア活動の支援

## 問16 健康増進のためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①ウォーキングの普及	226	24.2%
②軽スポーツ大会の開催	106	11.4%
③健康・スポーツ講座の開催	106	11.4%
④健康体操やヨガ教室の開催	120	12.9%
⑤健康料理教室の開催	75	8.0%
⑥健康診査の普及啓発	137	14.7%
⑦生活習慣病に関する講演会の開催	78	8.4%
⑧体力測定の充実	64	6.9%
⑨その他	20	2.1%
合 計	932	100.0%

### 「その他」の主な回答

- ・気軽に参加できる健康づくりの場をつくる
- ・軽い運動、認知症予防講座の開催
- ・地域でラジオ体操を行う
- ・寺子屋を開く（お経）
- ・スポーツ施設の整備
- ・外灯を設置し、夜間のウォーキングコースをつくる
- ・歩け歩け運動の推進（車や自転車を使わないことを習慣づける）
- ・個人個人が自覚して行うものである
- ・市の運動施設やジムの利用促進
- など



### 【参考】年齢別にみる健康増進のためにみんなで取り組むと良いこと

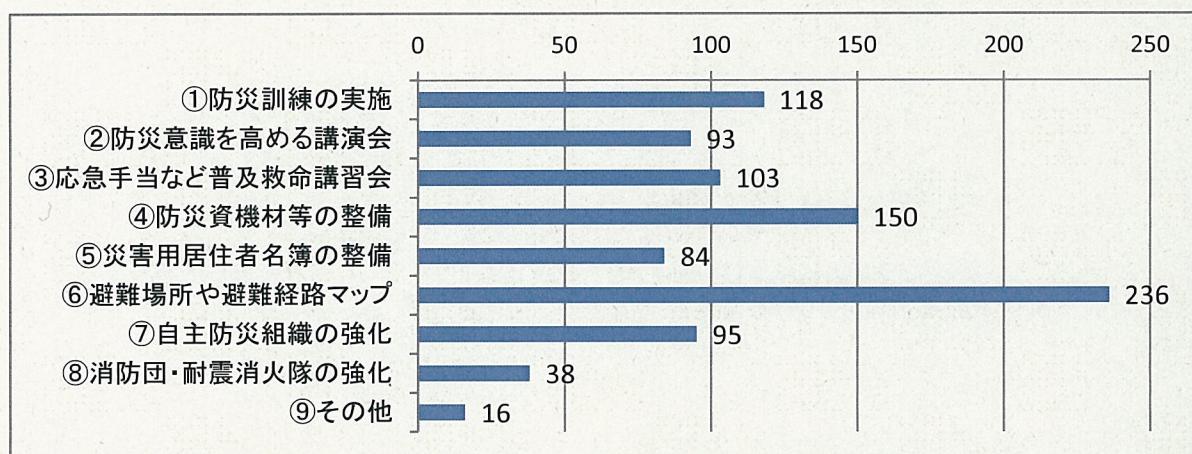
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	②軽スポーツ大会の開催	①ウォーキングの普及	⑥健康診査の普及啓発	④健康体操・ヨガの普及	③健康・スポーツ講座の開催
30~39歳	①ウォーキングの普及	⑥健康診査の普及啓発	③健康・スポーツ講座の開催	④健康体操・ヨガの普及	⑧体力測定の充実
40~49歳	①ウォーキングの普及	⑥健康診査の普及啓発	③健康・スポーツ講座の開催	④健康体操・ヨガの普及	②軽スポーツ大会の開催
50~59歳	①ウォーキングの普及	④健康体操・ヨガの普及	③健康・スポーツ講座の開催	⑥健康診査の普及啓発	⑦生活習慣病に関する講習会
60~69歳	①ウォーキングの普及	④健康体操・ヨガの普及	⑥健康診査の普及啓発	②軽スポーツ大会の開催	⑦生活習慣病に関する講習会
70~79歳	①ウォーキングの普及	⑥健康診査の普及啓発	⑦生活習慣病に関する講習会	⑤健康料理教室の開催	④健康体操・ヨガの普及
80歳以上	①ウォーキングの普及	⑦生活習慣病に関する講習会	⑥健康診査の普及啓発	②軽スポーツ大会の開催	⑤健康料理教室の開催

問17 災害から地域を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①防災（水防）訓練の実施	118	12.6%
②防災意識を高める講演会の開催	93	10.0%
③応急手当など普及救命講習会の開催	103	11.0%
④防災資機材等の整備	150	16.1%
⑤災害用居住者名簿の整備	84	9.0%
⑥避難場所や避難経路マップの作成	236	25.3%
⑦自主防災組織の強化	95	10.2%
⑧消防団・耐震消火隊の強化	38	4.1%
⑨その他	16	1.7%
合 計	933	100.0%

「その他」の主な回答

- ・災害を想定した実践的な訓練の実施
- ・ボランティアで頑張っている人の表彰
- ・避難勧告など重要な情報を確実に伝える仕組みの検討
- ・避難場所と備蓄食料の確認
- ・行政がしっかり考えて地域に示すことが重要である
- ・消防団員のマナー向上
- ・消火器、消火栓の取扱い訓練
- ・防災訓練への参加呼びかけ
- ・避難場所を増やす
- ・応急手当を学ぶための月1回の講習会
- ・自治会で各家族構成を把握する



【参考】年齢別にみる安心して暮らすためにみんなで取り組むと良いこと

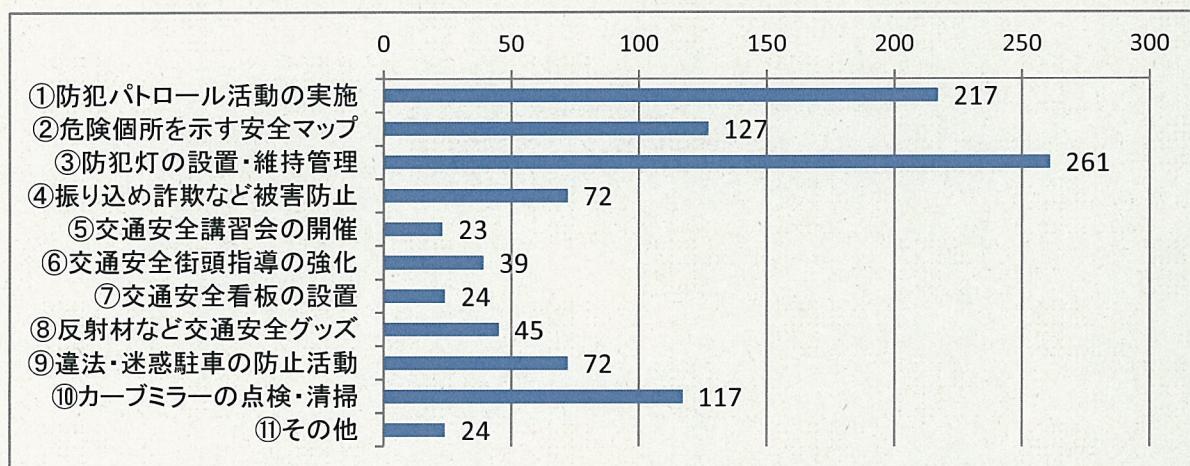
年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	⑥避難場所や避難経路マップ	④防災資機材等の整備	③応急手当など普通救命講習会	①防災（水防）訓練の実施	⑦自主防災組織の強化
30~39歳	⑥避難場所や避難経路マップ	④防災資機材等の整備	③応急手当など普通救命講習会	①防災（水防）訓練の実施	⑦自主防災組織の強化
40~49歳	⑥避難場所や避難経路マップ	④防災資機材等の整備	①防災（水防）訓練の実施	③応急手当など普通救命講習会	②防災意識を高める講演会
50~59歳	⑥避難場所や避難経路マップ	④防災資機材等の整備	①防災（水防）訓練の実施	⑦自主防災組織の強化	②防災意識を高める講演会
60~69歳	⑥避難場所や避難経路マップ	⑦自主防災組織の強化	①防災（水防）訓練の実施	④防災資機材等の整備	②防災意識を高める講演会
70~79歳	⑥避難場所や避難経路マップ	①防災（水防）訓練の実施	④防災資機材等の整備	⑦自主防災組織の強化	②防災意識を高める講演会
80歳以上	⑥避難場所や避難経路マップ	⑦自主防災組織の強化	④防災資機材等の整備	⑤災害用居住者名簿の整備	②防災意識を高める講演会

問17 犯罪や交通事故から地域住民を守るためにみんなで取り組むと良いことは何ですか。

項目	回答数	割合
①防犯パトロール活動の実施	217	21.3%
②危険個所を示す安全マップの作成	127	12.4%
③防犯灯の設置・維持管理	261	25.6%
④振り込め詐欺など被害防止活動	72	7.1%
⑤交通安全講習会の開催	23	2.3%
⑥交通安全街頭指導の強化	39	3.8%
⑦交通安全看板の設置	24	2.4%
⑧反射材など交通安全グッズの配布	45	4.4%
⑨違法・迷惑駐車の防止活動	72	7.1%
⑩カーブミラーの点検・清掃	117	11.5%
⑪その他	24	2.4%
合計	1,021	100.0%

「その他」の主な回答

- ・防犯カメラの設置
- ・団地内の通り抜け車両対策
- ・交番をつくる
- ・通勤時間帯の安全対策
- ・危険個所のマップをつくるより危険個所をなくす
- ・自分のことは自分で守る意識の醸成
- ・危険個所の早期改善
- ・住民のコミュニケーションの強化
- ・実情に合った道路標識の設置
- ・見通しを悪くしている樹木の伐採
- ・警察官によるパトロール強化
- ・あいさつ運動でコミュニケーションを図ることで犯罪を抑止する など



【参考】年齢別にみる安心して暮らすためにみんなで取り組むと良いこと

年齢区分	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	①防犯パトロール活動の実施	③防犯灯の設置・維持管理	②危険個所を示す安全マップ	⑩カーブミラーの点検・清掃	⑧反射材など交通安全グッズ
30~39歳	③防犯灯の設置・維持管理	①防犯パトロール活動の実施	⑩カーブミラーの点検・清掃	②危険個所を示す安全マップ	⑨違法・迷惑駐車の防止活動
40~49歳	③防犯灯の設置・維持管理	①防犯パトロール活動の実施	⑩カーブミラーの点検・清掃	④振り込め詐欺など被害防止	⑨違法・迷惑駐車の防止活動
50~59歳	③防犯灯の設置・維持管理	①防犯パトロール活動の実施	⑩カーブミラーの点検・清掃	②危険個所を示す安全マップ	⑧反射材など交通安全グッズ
60~69歳	③防犯灯の設置・維持管理	①防犯パトロール活動の実施	②危険個所を示す安全マップ	⑩カーブミラーの点検・清掃	⑨違法・迷惑駐車の防止活動
70~79歳	③防犯灯の設置・維持管理	①防犯パトロール活動の実施	②危険個所を示す安全マップ	④振り込め詐欺など被害防止	⑩カーブミラーの点検・清掃
80歳以上	②危険個所を示す安全マップ	③防犯灯の設置・維持管理	①防犯パトロール活動の実施	④振り込め詐欺など被害防止	⑩カーブミラーの点検・清掃

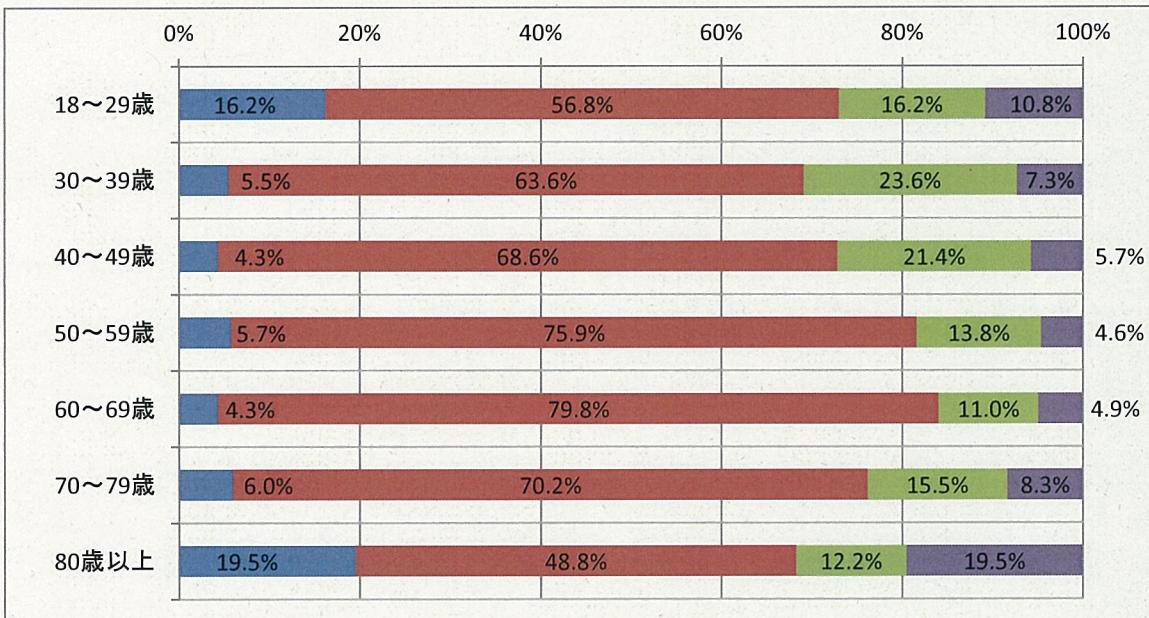
## まちづくり活動への参加についてお聞きします。

問19 まちづくり活動への参加についてどのように思われますか。

項目	回答数	割合
①参加したい	38	6.8%
②内容によっては参加したい	382	68.3%
③できれば参加したくない	82	14.7%
④参加しない	39	7.0%
不明（無回答）	18	3.2%
合 計	559	100.0%

### 【参考】年齢別にみるまちづくりの活動への関心

年齢区分	①参加したい		②内容によっては参 加したい		③できれば参加した くない		④参加しない	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
18～29歳	6	16.2%	21	56.8%	6	16.2%	4	10.8%
30～39歳	3	5.5%	35	63.6%	13	23.6%	4	7.3%
40～49歳	3	4.3%	48	68.6%	15	21.4%	4	5.7%
50～59歳	5	5.7%	66	75.9%	12	13.8%	4	4.6%
60～69歳	7	4.3%	130	79.8%	18	11.0%	8	4.9%
70～79歳	5	6.0%	59	70.2%	13	15.5%	7	8.3%
80歳以上	8	19.5%	20	48.8%	5	12.2%	8	19.5%

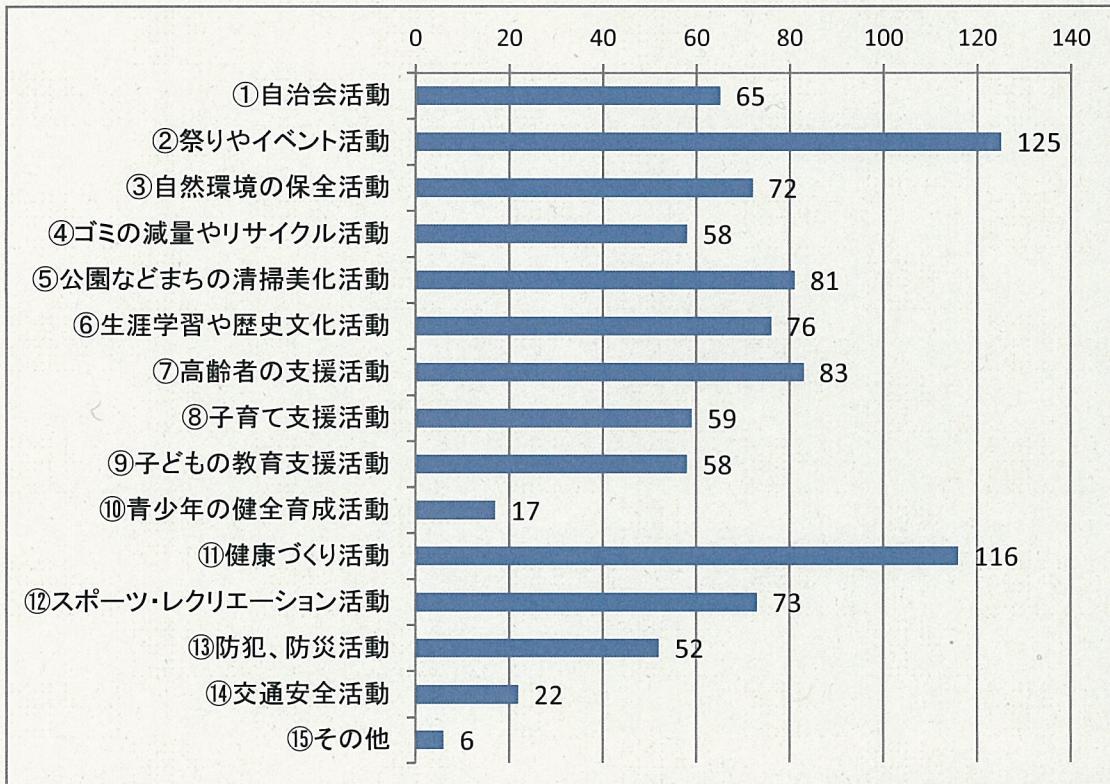


問20 問19で、①、②を選んだ方にお聞きします。どのようなまちづくり活動に参加したいですか。

項目	回答数	割合
①自治会活動	65	6.7%
②祭りやイベント活動	125	13.0%
③自然環境の保全活動	72	7.5%
④ゴミの減量やリサイクル活動	58	6.0%
⑤公園などまちの清掃美化活動	81	8.4%
⑥生涯学習や歴史文化活動	76	7.9%
⑦高齢者の支援活動	83	8.6%
⑧子育て支援活動	59	6.1%
⑨子どもの教育支援活動	58	6.0%
⑩青少年の健全育成活動	17	1.8%
⑪健康づくり活動	116	12.0%
⑫スポーツ・レクリエーション活動	73	7.6%
⑬防犯、防災活動	52	5.4%
⑭交通安全活動	22	2.3%
⑮その他	6	0.6%
合 計	963	100.0%

「その他」の主な回答

- ・農地や河川などの環境整備維持活動
- ・リタイヤして1年なので、まだまだいろいろな活動のことが分かりません



**【参考】 年齢別にみる参加したいまちづくり活動**

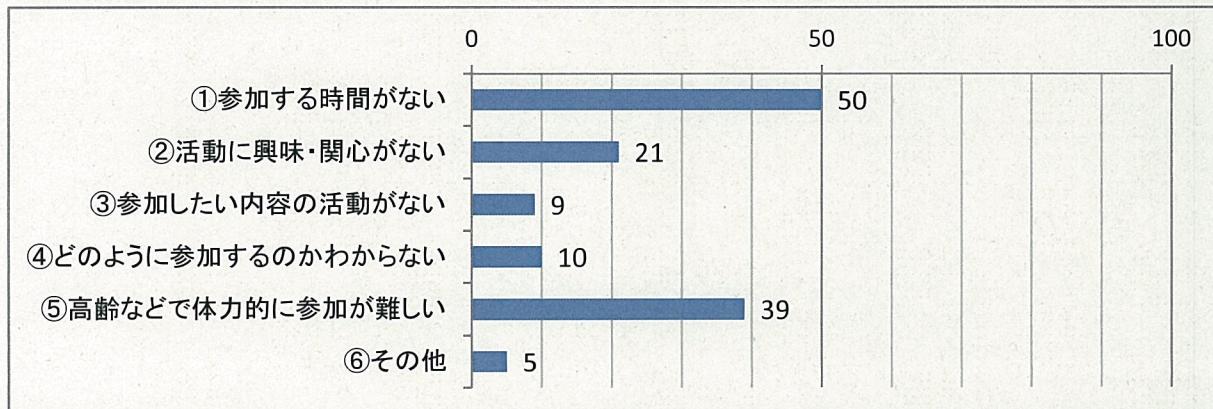
地 区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	②祭りやイベント活動	⑫スポーツ・レクリエーション	⑪健康づくり活動	⑥生涯学習や歴史文化活動	⑤公園などまちの清掃美化活動
30~39歳	②祭りやイベント活動	⑨子どもの教育支援活動	⑩青少年の健全育成活動	⑬防犯、防災活動	⑤公園などまちの清掃美化活動
40~49歳	②祭りやイベント活動	⑧子育て支援活動	⑫スポーツ・レクリエーション	①自治会活動	⑨子どもの教育支援活動
50~59歳	②祭りやイベント活動	⑪健康づくり活動	⑥生涯学習や歴史文化活動	⑫スポーツ・レクリエーション	⑧子育て支援活動
60~69歳	⑪健康づくり活動	③自然環境の保全活動	⑦高齢者の支援活動	⑤公園などまちの清掃美化活動	②祭りやイベント活動
70~79歳	③自然環境の保全活動	⑪健康づくり活動	⑤公園などまちの清掃美化活動	④ゴミの減量やりサイクル活動	①自治会活動
80歳以上	⑦高齢者の支援活動	⑪健康づくり活動	⑤公園などまちの清掃美化活動	②祭りやイベント活動	⑥生涯学習や歴史文化活動

**問21 問19で、③、④を選んだ方にお聞きします。まちづくり活動に参加したくない（参加しない）のは、どのような理由ですか。**

項 目	回答数	割合
①参加する時間がない（自分の時間をとられたくない）	50	37.3%
②活動に興味・関心がない	21	15.7%
③参加したい内容の活動がない	9	6.7%
④どのように参加するのかわからない	10	7.5%
⑤高齢などで体力的に参加が難しい	39	29.1%
⑥その他	5	3.7%
合 計	134	100.0%

「その他」の主な回答

- ・体調がよくない ・耳の聞こえが悪い ・興味が湧かない
- ・介護、仕事、家事で手一杯で、気持ちと行動が一致しない
- ・参加する意味がない ・地域の人と関わり合いたくない など

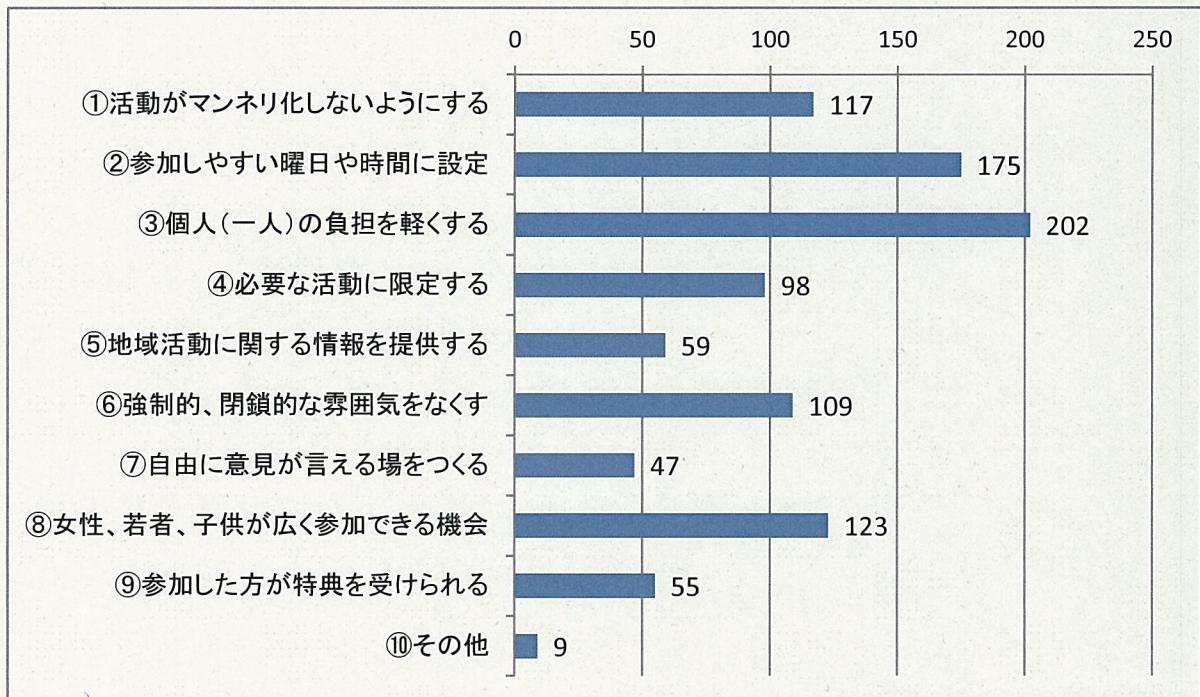


問22 まちづくり活動で多くの人が参加するためには、そのようなことが必要ですか。

項目	回答数	割合
①活動がマンネリ化しないようにする	117	11.8%
②参加しやすいように曜日や時間を設定する	175	17.6%
③個人（一人）の負担を軽くする	202	20.3%
④必要な活動に限定する（必要ななくなった活動はやめる）	98	9.9%
⑤地域活動に関する情報を提供する	59	5.9%
⑥強制的、閉鎖的な雰囲気をなくす	109	11.0%
⑦自由に意見が言える場をつくる	47	4.7%
⑧女性、若者、子供が広く参加できる機会をつくる	123	12.4%
⑨参加した方が特典を受けられるようにする	55	5.5%
⑩その他	9	0.9%
合 計	994	100.0%

「その他」の主な回答

- ・まちづくり、まちづくりとさわぐことが間違いであり、多くの人は他人事に思っている
- ・参加者に地域復興券を配布するなど目に見えるメリットがあるといい
- ・参加したい人が参加する ・自治会で全員参加型にする
- ・若い女性が集まると若い男性が集まる、若い男性が集まると中年の女性が集まるので、若い女性が楽しめるイベントを開催する
- ・長い間ボスがいましたので、ボスをつくらないことです
- ・活動の具体的な目標や目的を決め、達成できるよう導く
- ・何のために、誰が、いつ行うのか分らないので、末端まで告知してほしい
- ・参加したくなるよう内容を工夫する など

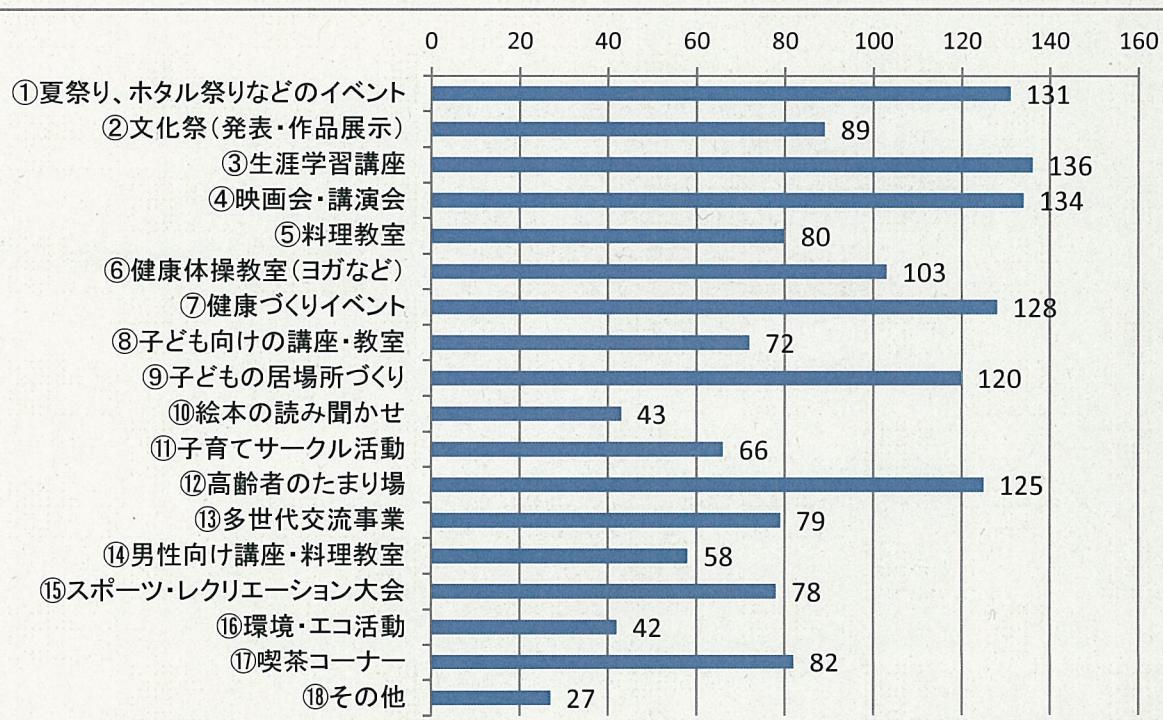


問23 西部ふれあいセンターで取り組んでほしい事業・行事は何ですか。(現在取り組んでいる事業を含む)

項目	回答数	割合
①夏祭り、ホタル祭りなどのイベント	131	8.2%
②文化祭(発表・作品展示)	89	5.6%
③生涯学習講座	136	8.5%
④映画会・講演会	134	8.4%
⑤料理教室(パンづくり、郷土料理等)	80	5.0%
⑥健康体操(ヨガなど)	103	6.5%
⑦健康づくりイベント(ウォーキング)	128	8.0%
⑧子ども向けの講座・教室	72	4.5%
⑨子どもの居場所づくり	120	7.5%
⑩絵本の読み聞かせ	43	2.7%
⑪子育て(ママ)サークル活動	66	4.1%
⑫高齢者のたまり場(サロン)	125	7.8%
⑬多世代交流事業(高齢者と子ども)	79	5.0%
⑭男性向けの講座・料理教室	58	3.6%
⑮スポーツ・レクリエーション大会	78	4.9%
⑯環境・エコ活動	42	2.6%
⑰喫茶コーナー	82	5.1%
⑱その他	27	1.7%
合計	1,593	100.0%

「その他」の主な回答

- ・現在の施設では選べる項目が少ない
- ・音楽コンサート、劇、音楽会
- ・落語家による寄席
- ・何もしなくて良い
- ・トレーニング器具を備えたジム
- ・アンサンブルコーラス合唱等
- ・学習会やサイエンスイベント
- ・簡単な健康体操
- ・自動販売機(飲料)の設置
- ・フリーマーケット(高齢者の手芸とか子供の服とか)
- ・家で勉強できない環境の若い人のための自習室
- ・警察や自衛隊の音楽隊の演奏
- ・小学生以上の子供たちが遊べる、自由にスポーツできる場所
- など



**【参考】 年齢別にみる取り組んでほしい事業・行事**

地 区	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
18~29歳	⑨子どもの居場所づくり	④映画会・講演会	①夏まつり、ホタル祭り	⑤料理教室	⑯スポーツ・レクリエーション
30~39歳	⑨子どもの居場所づくり	⑧子ども向けの講座・教室	①夏まつり、ホタル祭り	⑤料理教室	⑪子育てサークル活動
40~49歳	④映画会・講演会	⑧子ども向けの講座・教室	①夏まつり、ホタル祭り	③生涯学習講座	⑨子どもの居場所づくり
50~59歳	③生涯学習講座	⑨子どもの居場所づくり	⑫高齢者のたまり場	⑥健康体操	①夏まつり、ホタル祭り
60~69歳	⑦健康づくりイベント	④映画会・講演会	③生涯学習講座	⑥健康体操	①夏まつり、ホタル祭り
70~79歳	③生涯学習講座	⑫高齢者のたまり場	⑦健康づくりイベント	④映画会・講演会	②文化祭(発表・作品展示)
80歳以上	⑫高齢者のたまり場	⑬多世代交流事業	②文化祭(発表・作品展示)	④映画会・講演会	③生涯学習講座

**問24 西部地区のまちづくり活動に期待することは何ですか。**

項目	回答数	割合
①地域課題の解決(取組み)	148	17.1%
②まちづくり活動のリーダーシップ	62	7.2%
③地域の連帯感・一体感をつくること	156	18.1%
④広報紙による地域の情報発信	129	14.9%
⑤地域の意見を取りまとめる	49	5.7%
⑥自由に意見が言える雰囲気づくり	110	12.7%
⑦イベントによるにぎわいづくり	117	13.5%
⑧地域への愛着と誇りづくり	81	9.4%
⑨その他	12	1.4%
合計	864	100.0%

「その他」の主な回答

- ・この地域の活性化
- ・現在のままで十分だと思います
- ・福祉の充実
- ・週1回の法律相談、悩み相談等
- ・大人が子供を見守る地域の実現
- ・安全で住みやすい地域づくり
- ・防災、洪水対策
- ・本当に助けを求めている人に手をさしのべることができる温かい雰囲気と手をさしのべができる勇気と行動力のある人の育成を期待します
- など

